

# 沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業 基本計画（改定案）



## 令和8年5月 住民説明会

沖縄県

文化観光スポーツ部 MICE推進課

 **OKINAWA  
Japan**  
Where inspiration meets

## 1. MICEとは

### **M Meeting**(企業・団体会議)

企業・団体会議は、主に企業が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」「研修」「式典」「セミナー」等の催事、いわゆるコーポレートミーティングをいう。

あえて日常とは違う環境に集まることで、新しいアイデアが生まれ、充実した議論が展開されることが期待される。



### **I Incentive Travel**(報奨・研修旅行)

報奨・研修旅行は、主に企業が、従業員やその代理店等の「過去の実績に対する報奨の提供」や、さらなるビジネス成長へ向けた「研修」等の目的で実施する旅行をいう。

通常の観光要素だけでなく、表彰式やレクリエーションを取り込むことで、参加者の結束力を高めることができる。



### **C Convention**(学会・大会)

学会・大会は、公共機関等が主催する公益性の高いテーマを討議する国内・国際会議、大会等、または学術団体等が主催する学術的、技術的な議論・研究発表を目的とした学術会議、研究会・報告会等を指す。

会議だけでなく、観光や地域交流などのプログラムが組み込まれることも少なくない。



### **E Exhibition**(展示会)/**Event**(イベント)

展示会・見本市・商談会は、国や地域を越えた「モノ」「サービス」「情報」の売買や商談を目的として開催する、商品やサービス等の展示・宣伝・デモンストレーションを行う催事をいい、地域の産業発展に繋がる効果が期待される。

また、イベントは、商品やサービスの販売促進、プロモーションの手段等として開催する催事をいう。



## 2. 大型MICE施設等整備イメージ

### ★令和6年6月の入札公告における整備条件に基づくイメージ

- 大型MICE施設: 展示場 10,000㎡程度、多目的ホール 7,500㎡程度
- 付帯施設: 立体駐車場 2,000台以上、ペDESTリアンデッキ
- 宿泊施設(H1ゾーン): 客室数 250室程度

※施設の配置を含む施設設計は事業者提案となるため参考イメージ  
令和15年度上半期の共用開始を目指しています。



3

## 3. 沖縄県におけるMICE振興の取り組み

- 沖縄県は、沖縄のリゾート資源を生かしてMICE誘致に取り組んでいる。
- こうした国・県・民間・大学等による取り組みにより、沖縄の地域特性を生かした国際会議や魅力ある観光リゾート資源を活用したインセンティブ旅行は着実に増加し、沖縄県はリゾート型のMICE都市として一定の評価を得ている。

### MICE開催地として沖縄が選ばれる理由



#### 1 寛容なヒトと土地

かつて沖縄は琉球王国として、日本そしてアジア各国に至る広範囲で中継貿易を展開し、海邦交流拠点として多様な価値観を寛容してきました。そのような歴史から、あらゆる垣根を越え、訪れる全てのヒトを受け入れるオープンマインド、「万国津梁の精神」が受け継がれています。



#### 2 自然豊かなリゾート

日本にありながら独自の歴史、文化、自然環境を持つ沖縄ならではの癒しの空間が会議やコミュニケーションを活性化させ、ひらめきや創造性、沖縄での特別な体験を提供します。



#### 3 アジアと繋がるビジネス交流拠点

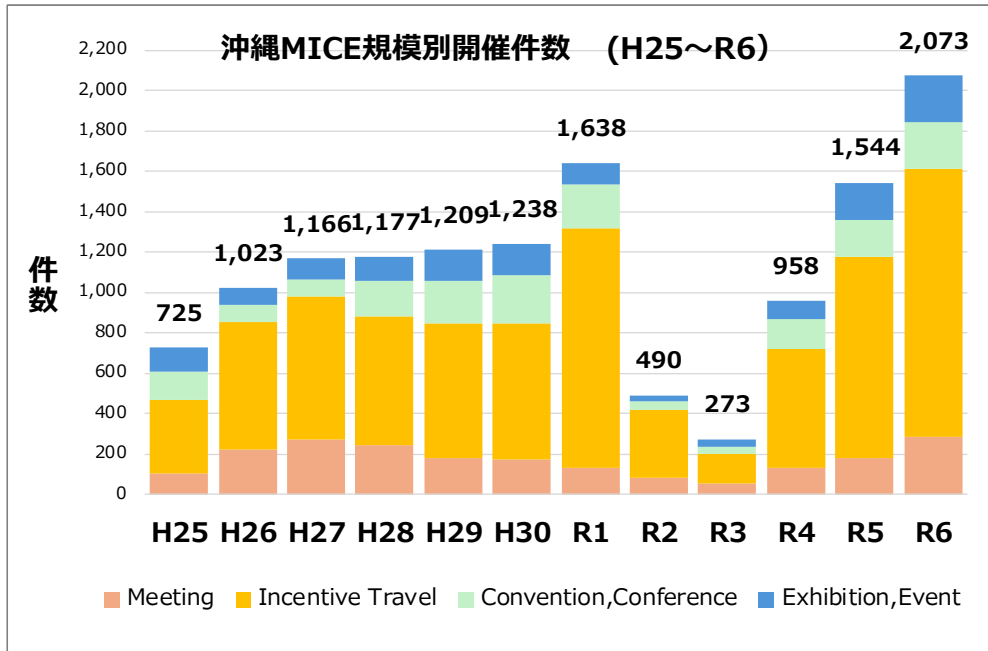
日本最南端の沖縄は、直行便で4時間圏内に、日本やアジアを含む約20億人の市場へアクセス可能なMICE開催地です。近年では先端医療・健康・バイオ、再生可能エネルギーなど、亜熱帯・海洋島嶼型の先進課題研究が集積し、参加者のビジネス・研究を加速させる環境を有しています。

- 沖縄は、豊かな自然環境、歴史的風土と伝統に根ざした個性豊かな文化により人々を惹きつける魅力、「ソフトパワー」を有している。

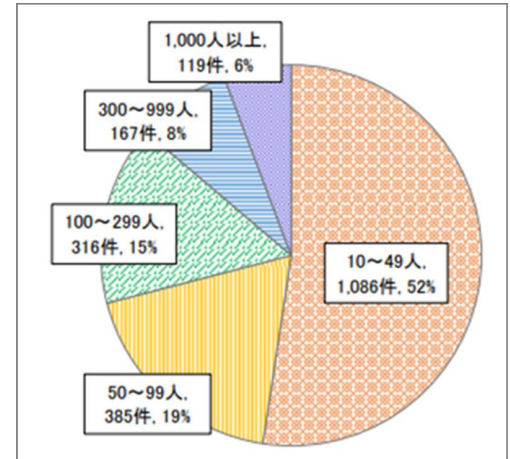
4

# 4. 沖縄県内のMICE開催状況

## ■ 県内MICE開催件数の推移



## ■ 県内MICE開催件数の推移



- 100名未満が全体の約71%
- 現在の施設規模の制約から、1,000名以上の催事は6%にとどまっている。

5

# 5. 沖縄県がMICEの振興に取り組む意義

## 沖縄でMICEを開催する意義、効果

### 観光分野を中心とした高い経済効果

- MICEを通じた新たなビジネス客の獲得  
→観光の平準化、観光サービスの質の向上
- 数年前に開催地が決定し、キャンセルリスクが少ない  
→MICEは将来の収益の担保、経営を安定化

### 産業の競争力強化

- 産業の高度化  
→MICE参加者の交流によるビジネス獲得やイノベーションの創出による産業の高度化
- ブランド向上  
→国際的な商談会などのMICE開催を通じてビジネス、交流拠点としてのブランド向上

## 地域・住民へもたらされる効果

- 東海岸エリアの活性化による**県土の均衡ある発展**
- 異文化理解が促進され地域の**グローバル化が進展**
- 地域住民のホスピタリティや**開催地の魅力を世界に発信**
- 最先端の商品・技術に触れる機会の創出や市民向けイベント開催による**教育機会の確保**
- 国際的なMICE開催地としての地域の誇りの醸成、**地域ブランドの形成促進**
- MICEに係る多様な**人材の育成・確保**や**新たな雇用機会の創出**

沖縄21世紀ビジョンの実現に貢献

6

# 6. 大型MICEとマリントウンMICEエリア

計画対象地の全景は以下の通り。



# 7. 大型MICEに関する計画

## 沖縄MICE 振興戦略 2017年

### 本県のMICE振興に係る方向性と具体的な施策の展開

MICE振興の基本的な考え方

1. 産学官連携や施設間連携による受入体制を構築し、離島を含めた沖縄県全体でのMICE振興を図る
2. MICE（特に展示会・商談会）の開催を通じて県内産業の成長を図る
3. MICEに関わる多様な人材の育成・確保を図る
4. 国内のMICE都市との連携・協力体制を構築し、沖縄県全体のMICE振興に寄与する

## マリントウン MICEエリア まちづくりビジョン 2016年

### まちづくり方向性の統一、宿泊施設や商業施設等の立地促進

まちづくりの基本方針

1. 沖縄の大型MICEの受入地域として相応しい拠点と賑わいを兼ね備えた安心・安全なまち（拠点性）
2. 既存環境と新しく作り出されるものが共存する調和のとれたまち（周辺環境との調和）
3. 地域住民、民間事業者、行政等の多様な主体の連携・協働により、持続的に成長・発展していくまち（体制づくり）

## マリントウンMICE エリアまちづくり デザイン 2018年

### エリア全体のデザインコンセプトと空間形成の考え方

1. デザインコンセプト

アジアと日本を結び世界から選ばれるビジネスリゾート サンライズMICEエリア  
～琉球のスピリチュアルな空間でインスピレーションを創出する～

2. 空間形成の考え方

- ・水と緑に囲まれた心地よい眺望空間形成
- ・緑を感じる水辺を楽しめるリゾート回廊空間形成
- ・伝統と文化と創造が交差するビジネスリゾート交流空間形成
- ・満足度を高く維持するMICEエリアの形成

## 8. 事業の位置づけ

マリンタウンMICEエリア形成事業は、**沖縄観光の量から質への変革**を目指す戦略的なMICE振興、**県土の均衡ある発展**を推進する主要な施策に位置づけている。

### 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画

**世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革**

ア 「新しい生活様式／ニューノーマルにおける安全・安心で快適な観光の推進  
イ SDGsに適合する観光ブランド力の強化  
ウ 多彩かつ質の高い観光の推進  
エ DXによる沖縄観光の変革  
オ マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興

**県土の均衡ある発展を支える「東海岸サンライズベルト構想の展開**

①デジタル技術の活用やサステナブルに配慮した大型MICE施設整備を推進  
②宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保  
③オープンスペースの賑わいの創出やスマートシティの形成

など、MICEを中心とした魅力あるまちづくりを推進し、東海岸一帯の活性化を図る

マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興

MICEを中心とした魅力あるまちづくりを推進し、東海岸一帯の活性化を図る

### 第6次沖縄県観光振興基本計画

**施策の基本方向**

①安全・安心・快適でSDGsに適合した観光地マネジメント  
②多彩かつ質の高い観光に向けたDXの推進  
③**沖縄のソフトパワーを生かしツーリズムの推進（ビジネスツーリズム）**  
④基盤となる旅行環境の整備  
⑤脱炭素・グリーンカーブへの積極的な対応  
⑥人材育成と人材確保の推進

SDGs / DX / 安全・安心など新たな取組

**施策の展開**

【施策】

①**MICE振興とビジネスツーリズムの推進**  
・マーケティング力や分析能力等の強化、ニーズを踏まえ誘致やMICEブランドを踏まえたプロモーション等の展開  
・本件の優位性を生かしたMICEの開催・誘致に向けた支援  
・「安全・安心なMICE開催地」の取組の国内外への発信と主催者や参加者と開催地を結びつける取組の推進  
②**MICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備**  
・大型MICE施設整備の推進とMICEを中心とした魅力あるまちづくり  
・産学官で構成するMICEネットワークの連携強化、大型MICE案件の受入促進、MICE主催者等のニーズを踏まえた基盤整備などの全県的なMICE受入体制の整備  
③**MICEを活用した関連産業の振興**  
・沖縄MICEブランドの構築や、安全・安心なMICE開催と高付加価値なMICEコンテンツや受入プログラムの開発等  
・さまざまな事業者によるMICE関連ビジネスへの展開促進

マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興

## 9. マリンタウンMICEエリア形成の方針

マリンタウンMICEエリアでは大型MICE を中心とした多彩で高付加価値の観光・交流拠点の形成や、SDGs に沿った持続的で未来を志向したエリア形成を推進する。

### 面的開発の推進と展開

- **東海岸サンライズベルト構想を推進する基点**となる面的整備
- 地元自治体等と連携したマリンタウンのエリア形成に向けた周辺開発
- **大型MICE施設の整備と周辺公有地の継続的な開発**
- **大型MICE施設と周辺開発との機能を整理し、効率的な機能分担と相互の経済的・実務的連携**
- マリンタウンMICEエリア全体でのMICE受け入れを可能とする環境整備
- デジタル技術を活用したエリア価値の高度化（利便性・付加価値の向上）

### 持続可能なまちづくり

- **マリンタウンMICEエリア内の魅力向上**、MICE運営支援に資する技術導入
- **地域力向上のための地域課題・広域課題の解決**
- **サステナブルなエリア形成のための仕組みの構築と運用**

### 官民連携の取組

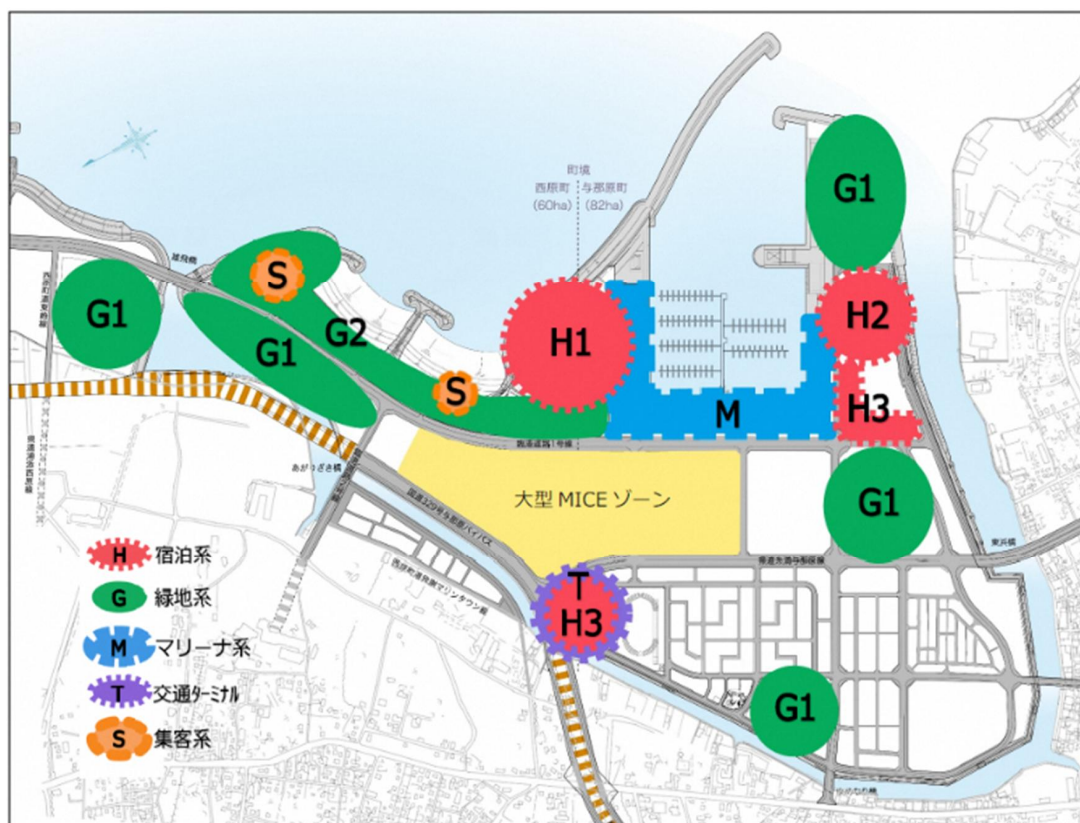
- **PPP/PFIによる事業推進**
- **民間ノウハウによる効率的MICE運営**
- マリンタウンMICEエリア内公有地・公共施設の活用・連携
- 産官学連携による新技術等の実証・実装事業の実施
- 官民協働のエリアマネジメント組織でのエリア価値の維持・向上

### 多様な移動手段・移動環境の創出

- マリンタウンMICEエリアと拠点間の**多様な活動を支える交通軸との連携**
- 地域住民、エリア来訪者、MICE参加者の移動の多様性・平等性の確保

# 10. ゾーニングと基本計画の改定理由

ゾーニングは以下の通り。



- 2024年（令和6年度）に、大型MICE施設等の公共施設と周辺公有地を一体で整備する「沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業」を入札公告したものの不調となった。
- そのため、大型MICE施設等の公共施設の整備推進により、周辺公有地活用の実現性を高め、マリンタウンMICEエリア形成を促進させることを目指し、本基本計画の改定を行う。

# 11. 改定の内容

大型MICE施設等の公共施設整備の事業者公募を行うとともに、H1ゾーンの宿泊施設は、大型MICE施設の供用開始時に開業又開業時期が示されることを目指した検討を進める方針とする。

## 初期的開発の方針

- マリンタウンMICEエリアは一体的・統一的な開発推進を目指している一方で、広大な敷地となっている他、県の所有する土地・施設のみならず、与那原町・西原町などの地元市町村の保有施設なども含まれるため、全て同時期の開発は実現が難しい。
- したがって、可能な限り早期のエリア開発を実現するため、初期的段階として大型MICE施設等の公共施設を整備するとともに、港湾管理者による指定管理、マリーナ整備との連携を進める方針とする。

## 継続的開発の方針

- H1ゾーンにおける民設民営での宿泊施設等の整備事業は、公共施設の整備と同時期又はその供用開始時に、開業時期が示されることを目指し、早期の事業者公募に向けて検討を進める方針とする。
- H2及びH3エリアの整備については、大型MICE施設やマリーナ整備が確実に進捗することで、ホテルを含む様々な用途での活用の検討が可能となることから、別整備での公募条件、柔軟な公募時期を検討する。

## マリンタウンエリアの各ゾーンごとの事業の内容及び方針

事業範囲		事業の内容及び方針
大型MICE施設等整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大型MICE施設</li> <li>• ペDESTリアンデッキ</li> <li>• 交通ターミナル (H3-T)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公共施設を公募の対象</li> <li>➢ 交通ターミナル (H3-T) の整備条件は、開業時の交通アクセスやMICE関係者以外の集客を見据えて検討</li> </ul>
周辺公有地活用	H1	➢ 特定事業の供用開始と同時期もしくはできる限り近い時期での開業
	H2・H3	➢ ホテルやその他機能の複合化、公募方法を検討
	M・G1・G2・S	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 港湾管理者における指定管理及びマリーナ整備事業と連携したエリア形成の取組</li> <li>➢ 地元自治体の公有地活用事業と連携した取組</li> </ul>



# 12. 大型MICE施設の事業募集内容

## 大型MICE施設等の公共施設の整備

- マリンタウンMICEエリアは一体的・統一的な開発推進を目指している一方で、広大な敷地となっている他、県の所有する土地・施設のみならず、与那原町・西原町などの地元市町村の保有施設なども含まれるため、**継続的なエリアの発展を進める**。
- 大型MICE施設と交通ターミナル（H3-T）、ペDESTリアンデッキの公共施設を事業範囲とした整備とともに、**同時期の整備が計画されている港湾管理者による与那原マリーナとの連携したエリア形成を進める**。



## 事業者募集の基本方針

- 大型MICE施設整備運営等事業は、**大型MICE施設、ペDESTリアンデッキ及び交通ターミナルの整備・運営を実施**する。
- 沖縄県内最大の大型MICE施設として、県のフラッグシップとなるMICE誘致に継続的に取り組むことを期待する。
- 今回選定する事業者（複数企業によるコンソーシアムも含む）に対しては、エリア内の公有地活用事業と連携した整備・運営の実現、および安定的・継続的MICE誘致のための**長期的関与**を求める。
- 沖縄県は、民間活力の導入により、さらなるMICEの振興およびマリンタウンMICEエリアの発展に資するサービス向上、**賑わいの創出**を期待する。
- 現在、大型MICE施設整備運営等事業は、以下の事業範囲を想定している。

	区分	施設の内容・イメージ
公共施設	大型MICE施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>床面積約1万㎡程度の展示場</li> <li>床面積約7,500㎡程度の多目的ホール</li> <li>会議室（20室～30室）</li> <li>立体駐車場</li> <li>屋内外でシームレスに接続可能な通信環境の整備等</li> </ul>
	交通ターミナル（H3-T）	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地全面平場（アスファルト舗装）による駐留スペースを想定</li> <li>連節バス等の大容量交通の運用を想定した整備</li> </ul>
	ペDESTリアンデッキ	<ul style="list-style-type: none"> <li>MICE施設、宿泊施設、バスターミナルを接続</li> </ul>
	その他収益施設（大型MICE用地内）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種法的制約、公序良俗に反する及び射幸心をあおる機能でない限りにおいて、用途、規模、配置計画は基本的に事業者の提案による</li> </ul>

13

# 13. 周辺公有地活用の方向性

## H1ゾーンの事業者募集の基本方針

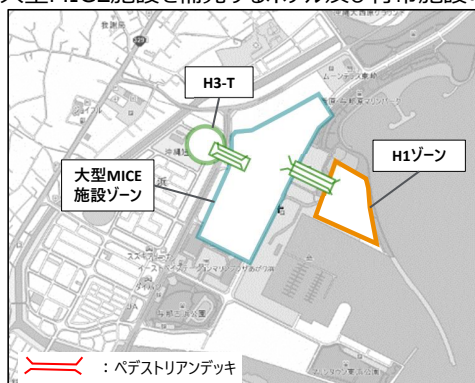
- H1ゾーンについては、ホテル事業での利活用を前提とした民間主体の整備・運営を目的に公募を実施する。
- 大型MICE施設に隣接したホテルを整備することで、大型MICE施設の県外利用者に対する利便性向上から更なるMICE誘致が実現することを想定している。
- 以下のとおりの公募範囲を想定している。

区分	施設の内容・イメージ
H1ゾーン（宿泊施設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模、設備スペックについては未定</li> <li>※民間事業者との対話・提案による</li> </ul>

### 公募対象範囲

#### 【H1ゾーン】

- 大型MICE施設を補完するホテル及び付帯施設の整備



## その他はH1と連携して、早期の開発を促進

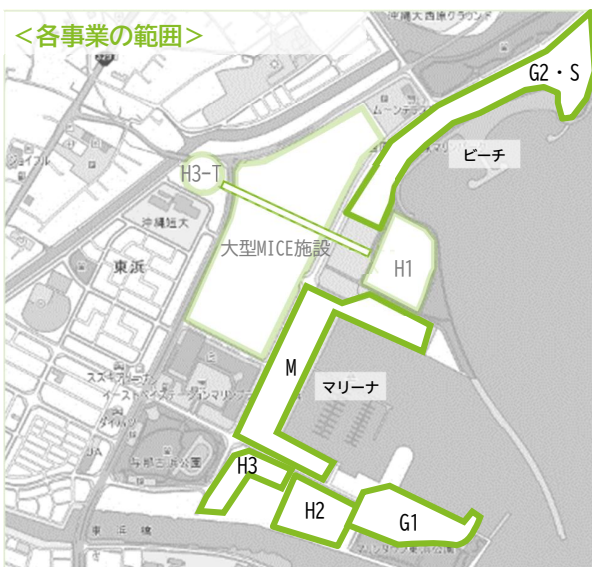
#### 【H2・H3ゾーン】

- 宿泊施設や Condominium など、長期滞在を想定した活用
- エリア内の滞在期間の延長、集客を補完する機能の導入

#### 【G1ゾーン】：既存機能との連携によるMICE受入の多様化

#### 【G2・S・Mゾーン】

- 港湾管理者による大型プレジャーボート等の係留施設の整備、みなと緑地PPP等による官民連携での活用
- 大型MICE施設、H1の宿泊施設と連携した利活用を想定



14

# 14. 事業の効果

マリンタウンMICE事業を通じ、以下の効果が期待できる。

## 定量的効果（大型MICE施設）

項目	効果
催事件数	算定中
参加人数	算定中
経済波及効果	算定中

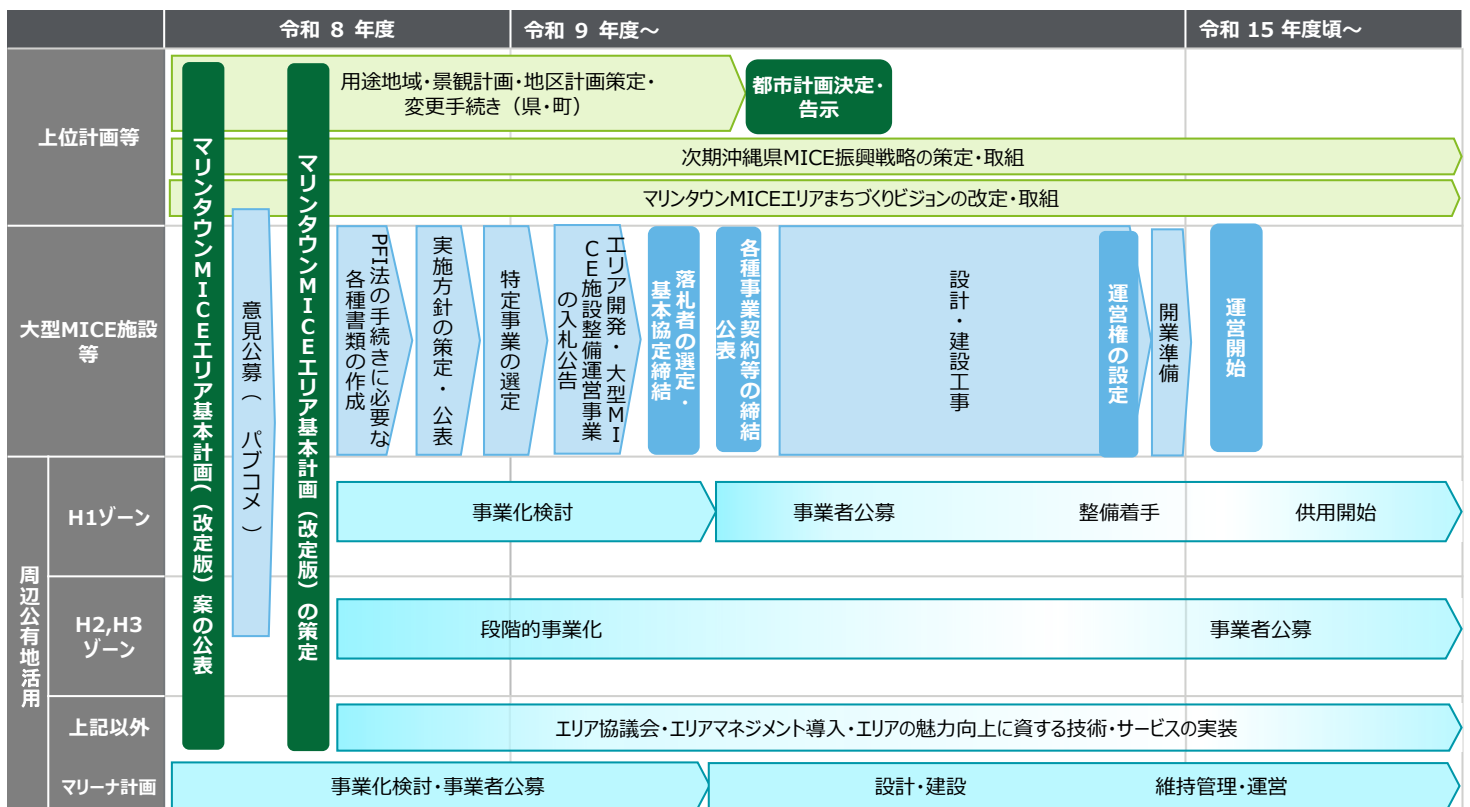
## 定性的効果

項目	効果
都市ブランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内拠点ともなる大型MICE施設整備により、ビジネスツーリズム拠点として認知度が向上する</li> <li>海外関係機関とのネットワークの構築</li> </ul>
周辺エリアへの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>マリンタウンMICEエリアを核とした東海岸地域の活性化による県土の均衡ある発展が期待される</li> <li>MICE開催前後の観光を楽しむ人も多いため、周辺エリアへの観光需要の拡散が期待される</li> </ul>
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型MICE施設が整備されることで、ビジネスツーリズムから派生する観光産業等の振興が期待される</li> <li>来街者向けの施設整備や産業創出が促される</li> <li>MICEをとした研究機関と企業との連携による新たな商品開発等による関連産業の振興が図られる</li> <li>MICEに係る多様な人材の育成・確保や新たな雇用機会の創出が促される</li> </ul>
裾野経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型MICE施設の整備においては、大型の都市開発事業により、建設業の期待が向上する</li> <li>MICEに伴う、飲食需要、宿泊需要、その他観光需要が期待され、県内の他産業に対して波及することが期待される</li> </ul>
地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型MICE施設の整備と連動し、周辺の都市環境形成も図られるため、地域住民の利便性も向上される</li> <li>特に観光流入を図るため、道路整備等により交通環境が充実され、地域住民の交通利便性も向上する</li> <li>海外からの参加者と地域住民等との交流促進</li> <li>高度な研究発表を通じた地域への教育的効果が期待される</li> </ul>

15

# 15. 今後の流れ

令和15年度上半期共用開始の供用開始に向けて取り組む



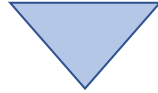
16

# ～ご清聴ありがとうございました～

令和8年5月11日から令和8年6月10日  
パブリックコメント実施中

沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画（改定案）

皆さまのご意見お待ちしております。



<https://www.pref.okinawa.lg.jp/kensei/kochokoho/1014932/1014936/1039425/1039597.html>